

ヴォイス（受動文を中心に）

日高水穂

A 解説

1. ヴォイスとは

動詞の形態と格体制に関わる文法カテゴリーをヴォイスという。ヴォイスとは、典型的には、動詞の基本形（辞書形）の取る格関係と、その動詞に接辞（助動詞）や補助用言などを付加した場合に取る格関係に、変化が生じるという現象である。日本語では、動詞の自他、能動／受動、使役、可能、自発、授受などの表現が、広義のヴォイスとして取り上げられることが多いが、このうち、最も典型的なヴォイスの現象と言えるのは、能動／受動、使役（および授受構文のうちのテモラウ）であろう。

日本語の受動文では、項の増減のない受動文の他に、項が一つ増える受動文の存在することがよく知られている。直接受動文と間接受動文の二大別、あるいは、まどもの受け身、持ち主の受け身、第三者の受け身の三大別などが行われる。また、受動文の動作主を表す助詞については、ニ、ニヨッテ、カラの使い分けが問題にされる。創造的行為にはニヨッテ、動作主に起点性の認められる動作ではカラが用いられ、ニは創造的行為以外のほとんどの受動文で用いられる。

使役文では、被使役者を表す助詞に関して、ヲ使役文とニ使役文の違いが取り上げられることが多い。日本語には、ヲ格が二重に出現してはならないという制限があり、ヲ格を取る他動詞の使役文では被使役者が二格で表される。一方、自動詞の使役文では、一般的に、被使役者をヲ格で表す場合は強制的な使役、二格で表す場合は許容・放任の使役という、使役の意味の違いが生じることが指摘されている。

テモラウ文は、構文的には、受動文の性質と使役文の性質を兼ね備えた位置づけがなされる。「太郎からそのことを{教えられた／教えてもらった}」「太郎に仕事を{手伝わせる／手伝ってもらう}」のように、同じ事態を言い換えることができる。テモラウ文は、受動文の迷惑性、使役文の強制性に対して、恩恵性を表現することから、待遇的な配慮によって選択され得る表現である。

2. 日本方言のヴォイス

これまでの日本語の方言文法の記述において、受動・使役は、動詞の活用形の記述の中で触れられることが多く、意味・構文的側面からの調査・記述は、あまり行われてこなかった。形態的側面からも、受動形の接辞が（ラ）レル、使役形の接辞が（サ）セルに由来

ヴォイス（受動文を中心に）

するものである点では、全国ほぼ一律である（琉球には使役形接辞シムがある）。接辞の形態に地域差が少ないということは、受動・使役が、日本語の構文の根幹をなすレベルのものであり、多様な形式（それに伴う意味）の分化を許すレベルのものではないことを意味するとも言える。

『方言文法全国地図』の受動・使役関連の分布図には、以下のものがある。受動形に関するものは、稿末に【資料1】として略図をあげたので、参照されたい。

・『方言文法全国地図』第1集 受動文・テモラウ文の助詞

第26図 息子に手伝いに来てもらった

第27図 犬に追いかけられた

・『方言文法全国地図』第3集 受動形・使役形

第115図 悪いことをすると新聞に書かれる【資料1-1】

第116図 留守のときに来られるとこまる【資料1-4】

第117図 壁に落書きをされる【資料1-2】

第118図 孫に窓を開けさせる

第119図 無理に手紙を書かせる

第120図 孫を無理に来させる

第121図 孫に庭の掃除をさせる

第122図 おれに手紙を書かせる

第123図 孫に手紙を書かせた

第124図 息子に手紙を書かせよう

第125図 無理に手紙を書かせられる【資料1-3】

なお、【資料1-5】には、第26図の資料一覧に基づき、「来てもらった」に対応するテモラウ以外の回答の分布図を示した。

3. 調査の着眼点

日本語の受動・使役の意味・構文的側面からの記述は、現代語（標準語）についても古典語についても、相当に進んでいる。そこで指摘された現象に関して、方言の側から特に異論が唱えられたということはない。むしろ、標準語文法の記述を踏まえた上での方言文法の記述は、これから進められるべき課題であり、ここでの項目の検討は、その基礎的な作業の一つと言える。受動・使役に関しては、どのような観点が、特に方言を見る際に有効であるかは、未だ模索の段階にある。よって、ここでは、既存の方言資料の分析といくつかの調査例を報告し、今後の調査の着眼点の一端を示したい。

なお、ここでは、受動文およびそれに関連するテモラウ文についての調査を想定して、項目の検討を行う。取り上げる観点は、以下のものである。

(1) 受動文の種類にはどのようなものがあるか。

(2) 受動文・テモラウ文の動作主を表す助詞にはどのようなものが用いられるか。

(3) ある事態がどのようなヴォイス表現で表されるか。

3.1 受動文の分類

まず、日本語の受動文の分類を示す。

直接受動文 [まともな受身]

- ・ 太郎が次郎に殴られた。（次郎が太郎を殴った。）

間接受動文

[持ち主の受身] 受動文のガ格が、対応する能動文のヲ格（二格）名詞を修飾するノ格（所有者）であるもの。

- ・ 太郎が次郎に頭を殴られた。（次郎が太郎の頭を殴った。）
- ・ 花子がスリにかばんを取られた。（スリが花子のかばんを取った。）
- ・ ある作家が批評家に新作をけなされた。（批評家がある作家の新作をけなした。）

[第三者の受身] 受身のガ格が、対応する能動文の格成分ではあり得ないもの。

- ・ 太郎が雨に降られた。
cf. 雨が降った。（×雨が太郎を/に降った。）
- ・ 花子が子供に死なれた。
cf. 子供が死んだ。（×子供が花子を/に死んだ。）

こうした受動文の分類は、各地方言の受動文においても同様に当てはまるのであろうか。【資料1】の分布図を見ながら、検討する。

【資料1-1】「悪いことをすると新聞に書かれる」は、まともな受け身もしくは持ち主の受け身の解釈（新聞記者が太郎の悪行を新聞に書く 太郎の悪行が新聞記者によって新聞に書かれる / 太郎が新聞記者によって自分の悪行を新聞に書かれる）の解釈が可能なものである。【資料1-2】「壁に落書きをされる」は、持ち主の受け身（子供たちが太郎の家の壁に落書きをする 太郎が子供たちによって自分の家の壁に落書きをされる）の解釈が可能である。【資料1-3】「無理に手紙を書かせられる」は、まともな受け身の解釈（父親が太郎に無理に手紙を書かせる 太郎が父親によって無理に手紙を書かせられる）が可能である。【資料1-4】「留守のときに来られるとこまる」は、第三者の受け身の解釈しか許されない。以上の4枚の分布図を通して、次のことが分かる。

- (1) 受身形の回答がまったく出ていない地点はない。すなわち、受動文をまったく用いない方言はない。
- (2) ある事態を受動文で表すかどうかには、方言差がある可能性がある。
- (3) 第三者の受け身として解釈される受動文は、用いない方言がある。代わりに用いられるのは、能動文（クル/キヤッ 敬語形 /キテクレル）、テモラウ文（キテモラウ）である。

3.2 受動文の動作主を表す助詞

標準語の受動文では、動作主を表す助詞としてニ、ニヨッテ、カラが用いられる。以下にその使い分けの基準を示す。

直接受動文の場合 ニ/ニヨッテ/カラ

【二項動詞】[Xガ][Yヲ/ニ] V [Yガ][Xニ/ニヨッテ/カラ] V(ラ)レル

- (a) 物理的・心理的働きかけを表す動詞： ニ / ニヨッテ / ×カラ
[Xガ][Yヲ] 殴る / 殺す / 助ける / おどす / 苦しめる / だます...
[Xガ][Yニ] 触る / かみつく / 飛びかかる / そむく / 逆らう...
Xは働きかけの主体
- (b) 感情・感覚の動きを表す動詞： ニ / ×ニヨッテ / カラ
[Xガ][Yヲ] 愛する / 嫌う / 憎む / 尊敬する / 見る / 聞く...
[Xガ][Yニ] 恋する / あこがれる / 感謝する / 甘える...
Xは感情主
- (c) 創造的行為を表す動詞： ×ニ / ニヨッテ / ×カラ
[Xガ][Yヲ] 作る / 建てる / 書く / 直す / (穴を)掘る / (橋を)かける /
決める / 増やす / 減らす / 演じる...
Xは創造的行為の担い手

【三項動詞】[Xガ][Y 1ニ][Y 2ヲ] V

A : [Y 1ガ][Xニ/ニヨッテ/カラ][Y 2ヲ] V(ラ)レル

B : [Y 2ガ][Xニ/ニヨッテ/カラ][Y 1ニ] V(ラ)レル

- (d) 二者間の物の移動を表す動詞： 送る / 贈る / 与える / 渡す...
二者間の情報（要求）の移動を表す動詞： 伝える / 教える / 頼む / 命じる...
A ニ / ニヨッテ / カラ
B ×ニ / ニヨッテ / カラ
- (e) 配置換えを表す動詞： 動かす / 入れる / 落とす / 貼る...
(A 受動文にすると不自然)
B 働きかけの意味の強いもの : ニ / ニヨッテ / ×カラ
創造的行為の意味の強いもの : ×ニ / ニヨッテ / ×カラ

間接受動文の場合 ニ

・[直接受動文]

その記事は知り合いの記者 { ×に / によって } 書かれたものだ。

・[間接受動文]

山田さんは知り合いの記者 { に / ×によって } ゴシップ記事を書かれて憤慨している。

受動文・テモラウ文に用いられる助詞については、地域差のあることが知られている。中でも、カラの用法の地域差は注目される。【資料2】に、受動文・テモラウ文の動作主を表す助詞カラについて、適格性の判断をしてもらうアンケート調査の結果をあげた（日

ヴォイス（受動文を中心に）

高 1999 参照）。調査地域は、秋田（秋田大学学生）、岩手（花巻南高等学校生徒）、福島（喜多方女子高等学校生徒）、近畿地方（京都橘女子大学学生／神戸山手女子短期大学学生）、熊本（熊本高等学校生徒）である（いずれも当該地域内出身者）。調査は、カラを含む各調査文について、「使う」「使わないが不自然ではない」「使わないし不自然である」のうち、当てはまるものを選んでもらうというものである。このうち、「使う」「使わないが不自然ではない」の回答率を足したものを「許容回答率」と呼ぶことにする。

標準語の場合、「尊敬する」「感謝する」のような感情の動きを表す動詞や、「命じる」「頼む」「教える」のような二者間のやりとりを表す動詞による受動文・テモラウ文では、その動作主をカラで表すことができるが、物理的働きかけを表す動詞（「殴る」「助ける」など）や創造的行為を表す動詞（「書く」「建てる」など）による受動文・テモラウ文では、その動作主をカラで表すことができない（前者では二、後者では二ヨツテが用いられる）。また、第三者の受身では、カラは用いられず、ニが専用される。すなわち、今回の調査文では、(2)(4)(6)(8)(13)が、標準語のカラにとって適格な用法であり、それ以外は不自然なものであると言える。

一方、『方言文法全国地図』では、第 27 図「犬に追いかけられた」において、山形および九州南西部（佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島）でカラが回答されており、また、第 26 図「息子に手伝いに来てもらった」において、秋田・山形・新潟を主な分布域としてカラが回答されている。今回の調査結果にもこうした地域差が反映しており、秋田では、物理的働きかけを表す動詞のテモラウ文（調査文(14)(15)）でのカラの許容回答率がかなり高く、物理的働きかけを表す動詞の受動文（調査文(1)(5)(9)(10)(11)）の許容回答率も高い傾向にある。熊本では逆に、物理的働きかけを表す動詞の受動文の方で他の地域に抜きんでて許容回答率が高く、物理的働きかけを表す動詞のテモラウ文の許容回答率も高い傾向にあると言える。それに対して、岩手・福島・近畿地方の回答結果は、項目によって多少の異同はあるが、物理的働きかけを表す動詞の場合、受動文、テモラウ文ともカラの許容回答率は相対的に低い。ただし、秋田・熊本においても、創造的行為を表す動詞による受動文（調査文(3)(7)）や第三者の受身的な受動文・テモラウ文（調査文(12)(16)）では、カラはほとんど許容されていない。カラの用法が標準語に比べて広いと言われる地域においても、カラの使用は動作の出発点（起点）という意味を拡張できる動詞の受動文・テモラウ文に限られていることが分かる。

3.3 ヴォイス表現の選択（1）：授受表現の現れやすい方言、現れにくい方言

ヴォイスの現れ方は、ある事態を誰を主役に据えて述べるかという表現の選択の問題でもある。

【資料 1-5】「息子に手伝いに来てもらった」（「息子に」の助詞の部分が GAJ での調査項目）に関して、『方言文法全国地図解説 1』には、「琉球では、「息子が手伝いに来てくれた」とか「息子が手伝いに来た」など、「息子」を主格に置く表現しか得られない地点が多かった」（p.166）、「また、「息子に」という形をとりながら、使役表現となっている地点が 2 つ（0717.50、1233.52）あった」（同）とある。ちなみに、『日本言語地図 2』

ヴォイス（受動文を中心に）

第 76 図「もらう」を見ると、沖縄ではモラウ類の語形がまったく回答されず、エル類（IRUN・IIRUN・IYUN・IYUN・YUN・IN・IIN・YUII・II・IIZI・IIZII・IIZILI・IIZIIDIUSI・IIZIU・IZIULI・ZII）、トル類（TUYUN・TULI・TOORARIN・TUIN・SUIN）、クレル類（HUUIN）、その他（HYAN・GIIN）の語形が回答されている。このように、テモラウ文を用いない方言が、琉球地方には存在する。

テモラウ文が日本語の運用の中で不可欠のものでないことは、本土方言の中でも確認できる。既存の方言談話資料の中には、【資料 3】に示したように、方言文では受動文で表現されている内容が、標準語訳においてテモラウ文で訳出されている例が散見される。これらが、青森、岩手、宮城、山形、三宅島、長崎という日本の周辺部の例である点に着目すれば、テモラウ文による恩恵性明示の表現は、中央部において生じた比較的新しい表現であることが予想される。このことは、【資料 4】においても確認できる。ここでは、夏目漱石『坊つちやん』の一節を方言訳した資料において、原文にはない授受表現が方言訳に現れている例が注目される。方言訳では「負ぶさって」を「負うてもらうて」等のテモラウ文で表し、方言訳では「切って見せる」を「切ってみせたる」等のテヤル文で表す方言が、近畿を中心にした中央部にある。

以上をまとめると、次のようになる。

- (1) 琉球方言には、「もらう」に由来する語がない。物の授受（モラウの本動詞用法）では、「得る」「取る」に由来する語を用いて「もらう」の意味領域を表す。行為の授受（モラウの補助動詞用法）では、テモラウに相当する表現を用いず、動作主を主語にした能動表現（恩恵性を付与したい場合はテクレルを用いる）が使役表現で表す。
- (2) 授受構文を頻用する方言とそうでない方言がある。受動表現にテモラウ、能動表現（意志文）にテヤルを用いる傾向が、近畿を中心にした中央部の方言にある。

3.4 ヴォイス表現の選択(2): アンケートによる調査例

ヴォイス表現の選択は、事態に関与する者に対する話し手の視点の置き方（共感度）を反映するものでもある。

【資料 5】は、ある二者の間に生じた事態を文で述べる場合に、誰を主役（主語）にして述べるか、さらに、それが恩恵的な行為のやりとりである場合に、恩恵性を含む表現（授受表現）を選択するかどうかを調査したアンケートの結果である。調査は、秋田大学、神戸学院大学の学生に対して行った。秋田大学調査では東日本出身者（東北地方出身者が大半）の回答を集計し、神戸学院大学調査では西日本出身者（近畿地方出身者が大半）の回答を集計した。

絵によって視覚的に示したそれぞれの事態は、次のような場面設定に対応している。

・能動文と受動文の選択

[場面 A] 動作主 人・受け手 人・動作 殴る

[場面 B] 動作主 動物・受け手 人・動作 咬む

・授受表現の使用・不使用

[場面 C] 動作主 人・受け手 人・動作 肩をたたく

ヴォイス（受動文を中心に）

[場面 D] 動作主 人 ・ 受け手 人 ・ 動作 物を与える

場面 A では、東日本出身者においては、能動文（動作主を主語にした文：「タダシがマサオを殴った」等）を回答した者と受動文（受け手を主語にした文：「マサオがタダシに殴られた」等）を回答した者の割合がほぼ均衡している。一方、西日本出身者においては、能動文選択者が受動文選択者をはるかに上回っている。

場面 B では、東日本出身者、西日本出身者とも、受動文（「アキラが犬にかまれた」等）の回答が圧倒的に多い。

場面 C では、動作主（与え手）を主語にした文（「孫がおばあさんの肩をたたいてあげている/たたいている」等）を回答した者が、受け手を主語にした文（「おばあさんが孫に肩をたたいてもらっている/たたかれている」等）を回答した者よりも多い。ただし、この傾向は東日本出身者に顕著で、西日本出身者では、受け手を主語にした文を回答する率がやや上がる。恩恵性の表現（授受構文）の選択では、動作主（与え手）主語の場合には授受構文を選択しない回答が多く、受け手主語の場合にはほぼ授受構文が選択されている。

場面 D では、動作主（与え手）を主語にした文（「山田さんが加藤さんにりんごをあげている/渡している」等）を回答した者が、動作の受け手を主語にした文（「加藤さんが山田さんからりんごをもらった」等）を回答した者よりも多いが、東日本出身者においては場面 C に比べて、その差が小さくなっていると言える。恩恵性の表現（授受構文）の選択に関しては、動作主（与え手）主語の場合には授受構文を選択する回答が多くなっているが、授受構文を選択しない回答も一定数見られるのに対し、受け手主語の場合にはすべての回答で授受構文が選択されている。

ここでの調査結果は、現代日本語における、ほぼ一般的なヴォイス表現の選択の傾向を反映しているものと思われる。なお、東日本出身者と西日本出身者の間に見られた差のうち、顕著であるのは場面 A の結果である。この差が方言差を反映したものであるのかどうかは、現時点では不明である。今後の課題としたい。

4 . 文献

久野 暉（1978）『談話の文法』大修館書店

佐伯哲夫（1975）『現代日本語の語順』笠間書院

寺村秀夫（1982）『日本語のシンタクスと意味』くろしお出版

仁田義雄（1980）『語彙論的統語論』明治書院

野田尚史（1991）『はじめての人の日本語文法』くろしお出版

日高水穂（1999）「ことばに関するアンケート調査 1997-1998」『秋田大学ことばの調査（第1集）』秋田大学教育文化学部日本・アジア文化研究室（私家版）

福嶋秩子（1992）「新潟方言の格助詞「カラ」の用法をめぐる」『日本語学（特集 方言地図と文法）』VOL.11-6

細川由起子（1986）「日本語の受身文における動作主のマーカ―について」『国語学』144

益岡隆志（1987）『命題の文法』くろしお出版

森山卓郎（1988）『日本語動詞述語文の研究』明治書院

B 項目

以下、GAJ は『方言文法全国地図』を指し、丸数字は巻数、丸数字の後の数字は地図番号を示すものとする。

1．受動文の種類

まともの受け身 __：受動文でガ格化する格

・ 2 項動詞

- (1-01) 太郎が次郎に殴られた。... [ガ・ヲ] / 直接的働きかけ
- (1-02) 太郎が犬にかみつかれた。... [ガ・ニ] / 直接的働きかけ
- (1-03) 太郎が先生にほめられた。... [ガ・ヲ] / 言語的働きかけ
- (1-04) 太郎が花子に話しかけられた。... [ガ・ニ] / 言語的働きかけ
- (1-05) 太郎がみんなに嫌われるのは、うそをつくからだ。... [ガ・ヲ] / 感情的働きかけ
- (1-06) 太郎がみんなに感謝されるのは、親切だからだ。... [ガ・ニ] / 感情的働きかけ
- (1-07) 無理に手紙を書かせられる。(GAJ 125) ... [ガ・ニ・ヲ] / 使役

・ 3 項動詞

- (1-08) 次郎が太郎によって花子を紹介されることになった。... [ガ・ヲ・ニ]
- (1-09) 花子が太郎によって次郎に紹介されることになった。... [ガ・ヲ・ニ]
- (1-10) 山田さんが知事から感謝状を贈られることになった。... [ガ・ヲ・ニ]
- (1-11) 感謝状が知事から山田さんに贈られることになった。... [ガ・ヲ・ニ]

・ 非情物主語

- (1-12) 大量のゴミが悪徳業者によって空き地に捨てられた。
- (1-13) 大量のゴミがその空き地に捨てられた。
- (1-14) 『源氏物語』が紫式部によって書かれたことは、学校で習った。
- (1-15) 『源氏物語』が平安時代に書かれたことは、学校で習った。
- (1-16) 悪いことをすると（その悪いことが）新聞に書かれる。(GAJ 115)

・ 視点性

- (1-17) 満員電車で誰かが私を押した。... 能動文・<3人称>ガ<1人称>ヲ～スル
- (1-18) 満員電車で私は誰かに押された。... 受動文・<1人称>ガ<3人称>ニ～サレル
- (1-19) 満員電車で私は誰かを押した。... 能動文・<1人称>ガ<3人称>ヲ～スル
- (1-20) 満員電車で誰かが私に押された。... 受動文・<3人称>ガ<1人称>ニ～サレル

持ち主の受け身

- (1-21) 太郎が次郎に頭を殴られた。... 身体部分（中心的）
- (1-22) 太郎が次郎に妹を殴られた。... 身内
- (1-23) 花子が次郎に髪を切られた。... 身体部分（周辺の）
- (1-24) 花子が次郎に人形の髪を切られた。... 所有物
- (1-25) 太郎が次郎に（着ていた）服を破られた。... 所有物

ヴォイス（受動文を中心に）

- (1-26) 太郎が次郎に（タンスにしまっておいた）服を破られた。…所有物
- (1-27) 太郎が次郎に居眠りしているところを見られた。…姿
- (1-28) ある作家が批評家に新作をけなされた。…作品
- (1-29) 壁に落書きをされる。（GAJ 117）…所有物
- (1-30) 悪いことをすると（その悪いことを）新聞に書かれる。（GAJ 115）…行為
第三者の受け身
- (1-31) 太郎は雨に降られて、ずぶぬれになった。
- (1-32) 花子は子供に死なれて、とても悲しんでいる。
- (1-33) 花子は子供に大声で泣かれて、とてもこまった。
- (1-34) 花子は隣で煙草を吸われて、いやがっている。
- (1-35) 山田さんは自宅の隣に高層ビルを建てられて、迷惑している。
- (1-36) 留守のときに来られるとこまる。（GAJ 116）

注：上に挙げた例文は、調査対象とする方言によって、より自然な近似的な表現に改めてもよい。例えば、「殴る」よりは、「たたく」「しばく」などが、より自然に用いられる方言では、「殴られる」を「たたかれる」「しばかれる」などに改める。

2. 受動文・テモラウ文の動作主を表す助詞

受動文

- (2-01) 「太郎は次郎に殴られた」の「次郎に」。
- (2-02) 「太郎は犬にかみつかれた」の「犬に」。
- (2-03) 「太郎は犬に手をかみつかれた」の「犬に」。
- (2-04) 「太郎はスリに財布を盗まれた」の「スリに」。
- (2-05) 「亀は浦島太郎に助けられた」の「浦島太郎に」。
- (2-06) 「浦島太郎は助けた亀に感謝された」の「亀に」。
- (2-07) 「山田さんは息子たちに尊敬されている」の「息子たちに」。
- (2-08) 「太郎は社長に出張を命じられた」の「社長に」。
- (2-09) 「太郎は母親に留守番を頼まれた」の「母親に」。
- (2-10) 「『源氏物語』は紫式部によって書かれた」の「紫式部によって」。
- (2-11) 「金閣寺は足利義満によって建てられた」の「足利義満によって」。
- (2-12) 「雨に降られてびしょぬれだ」の「雨に」。

テモラウ文

- (2-13) 「太郎にカメラの使い方を教えてもらった」の「太郎に」。
- (2-14) 「太郎に宿題を手伝ってもらった」の「太郎に」。
- (2-15) 「亀は浦島太郎に助けてもらった」の「浦島太郎に」。
- (2-16) 「この時期に雨に降ってもらうと助かる」の「雨に」。

ヴォイス（受動文を中心に）

注：予想される形式としては、ニ、ニヨッテ、カラの他に、ニカッテ（主に東北地方）、ンカイ（主に琉球地方）などがある。また、これらの表現を無助詞で表す方言もあり得るので、注意したい。

3. ヴォイスの選択（〔絵〕は【資料5】を参照）

能動文と受動文の選択

・人が人を殴る

（3-01）中立視点：〔絵〕場面Aの出来事を他の人に伝えるとすれば、どのように言いますか。人物名を織り込んで、ひとつの文で表現してください。

（3-02）動作主寄り視点：〔絵〕それでは、この場面Aの出来事を、あなたがタダシの立場に立った場合、どのように表現しますか。

（3-03）受け手寄り視点：〔絵〕それでは、この場面Aの出来事を、あなたがマサオの立場に立った場合、どのように表現しますか。

・犬が人を咬む

（3-04）中立視点：〔絵〕場面Bの出来事を他の人に伝えるとすれば、どのように言いますか。人物名を織り込んで、ひとつの文で表現してください。

（3-05）動作主寄り視点：〔絵〕それでは、この場面Bの出来事を、あなたがこの犬の飼い主の立場に立った場合、どのように表現しますか。

（3-06）受け手寄り視点：〔絵〕それでは、この場面Bの出来事を、あなたがアキラの立場に立った場合、どのように表現しますか。

授受表現の使用・不使用

・行為の授受

（3-07）中立視点：〔絵〕場面Cの出来事を他の人に伝えるとすれば、どのように言いますか。人物名を織り込んで、ひとつの文で表現してください。

（3-08）動作主寄り視点：〔絵〕それでは、この場面Cの出来事を、あなたが孫の立場に立った場合、どのように表現しますか。

（3-09）受け手寄り視点：〔絵〕それでは、この場面Cの出来事を、あなたがおばあさんの立場に立った場合、どのように表現しますか。

・物の授受

（3-10）中立視点：〔絵〕場面Dの出来事を他の人に伝えるとすれば、どのように言いますか。人物名を織り込んで、ひとつの文で表現してください。

（3-11）動作主寄り視点：〔絵〕それでは、この場面Dの出来事を、あなたが山田さんの立場に立った場合、どのように表現しますか。

（3-12）受け手寄り視点：〔絵〕それでは、この場面Dの出来事を、あなたが加藤さんの立場に立った場合、どのように表現しますか。

注：場面Dの絵は、山田さんが与え手とも、加藤さんが与え手とも見ることができるので、回答者がどちらを与え手としてとらえてもよいものとする。

ヴォイス（受動文を中心に）

C 資料

資料1 『方言文法全国地図』受動文関係分布図（略図）

資料1-1 悪いことをすると新聞に書かれる

資料1-2 壁に落書きをされる

資料1-3 無理に手紙を書かせられる

資料1-4 留守のときに来られるとこまる

資料1-5 息子に手伝いに来てもらった

資料2 受動文の動作主を表すカラの適格性（アンケート調査の結果）

秋田.....秋田大学学生（秋田県内出身者）

岩手（花巻周辺）.....岩手県立花巻南高等学校生徒（岩手県内出身者）

福島（喜多方周辺）...福島県立喜多方女子高等学校生徒（福島県内出身者）

近畿地方.....京都橘女子大学・神戸山手女子短期大学学生（近畿地方出身者）

熊本.....熊本県立熊本高等学校生徒（熊本県内出身者）

資料3 テモラウ表現で訳出される受動表現

資料4 夏目漱石『坊つちやん』冒頭部分の各地方言訳に見る授受表現

資料5 ヴォイス表現の選択に関する調査

東日本若年層.....秋田大学学生（東日本出身者）

西日本若年層.....神戸学院大学学生（西日本出身者）

資料2・5の秋田大学学生調査は、日高が秋田大学で担当する講義の受講者に対し、ほぼ毎回、出席確認をかねて行っていることばに関するアンケート調査によるものである。また、花巻南高等学校での調査では窪田大介先生、喜多方女子高等学校での調査では桑原瑞夫先生、京都橘女子大学、神戸山手女子短期大学での調査では西尾純二氏（大阪大学）、熊本高等学校の調査では橋本岳範先生、神戸学院大学での調査では野田春美氏（神戸学院大学）にお世話になった。ご協力いただいた各位には、心より、感謝申し上げます。なお、調査結果の一部は、日高のホームページ（<http://cube.ed.akita-u.ac.jp/staff/hidaka/tyousa/tyousa.html>）でも公開している。参照されたい。

【資料1-1】悪いことをすると新聞に書かれる

・ 受身形を回答

非受身形のみ回答

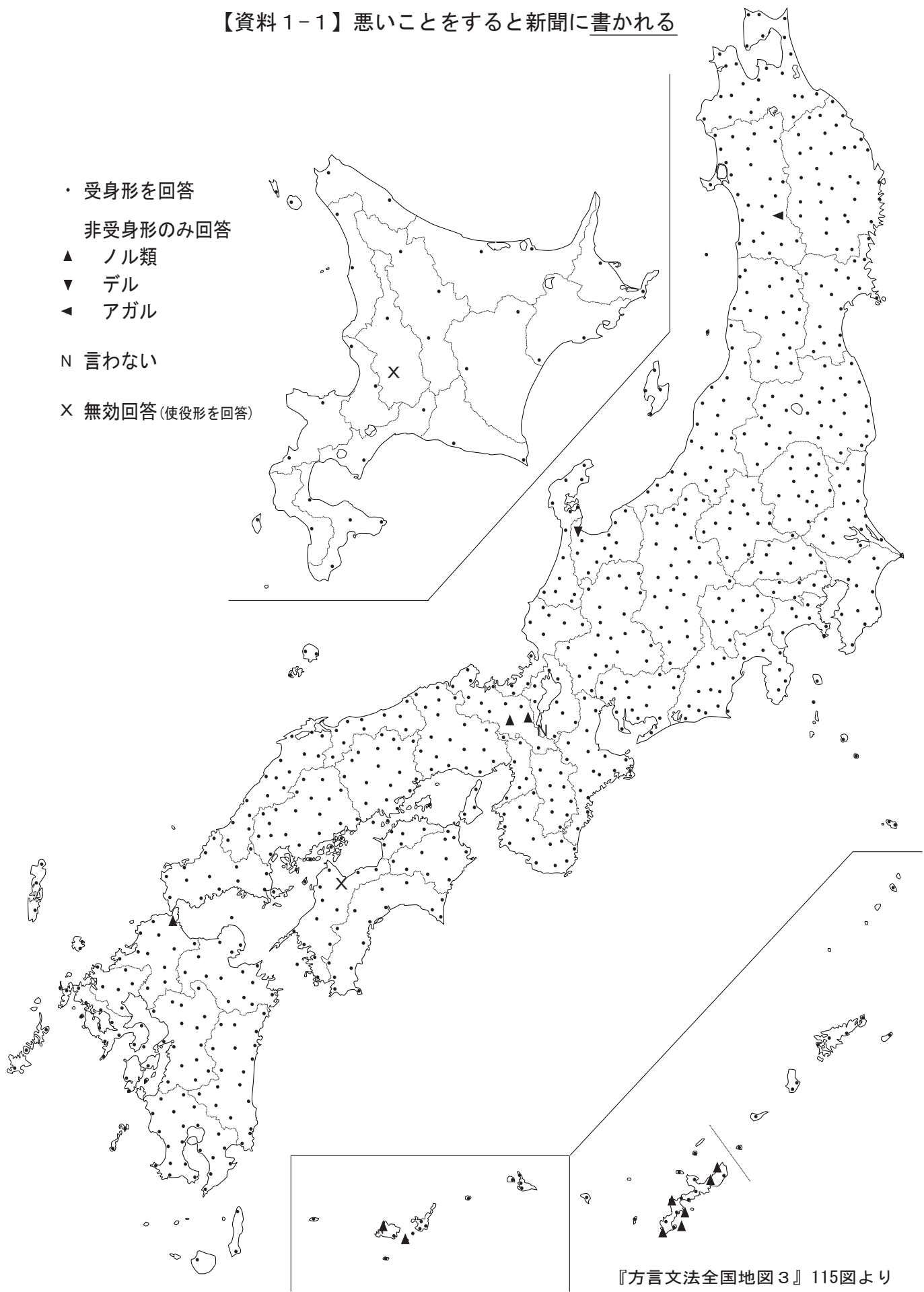
▲ ノル類

▼ デル

◄ アガル

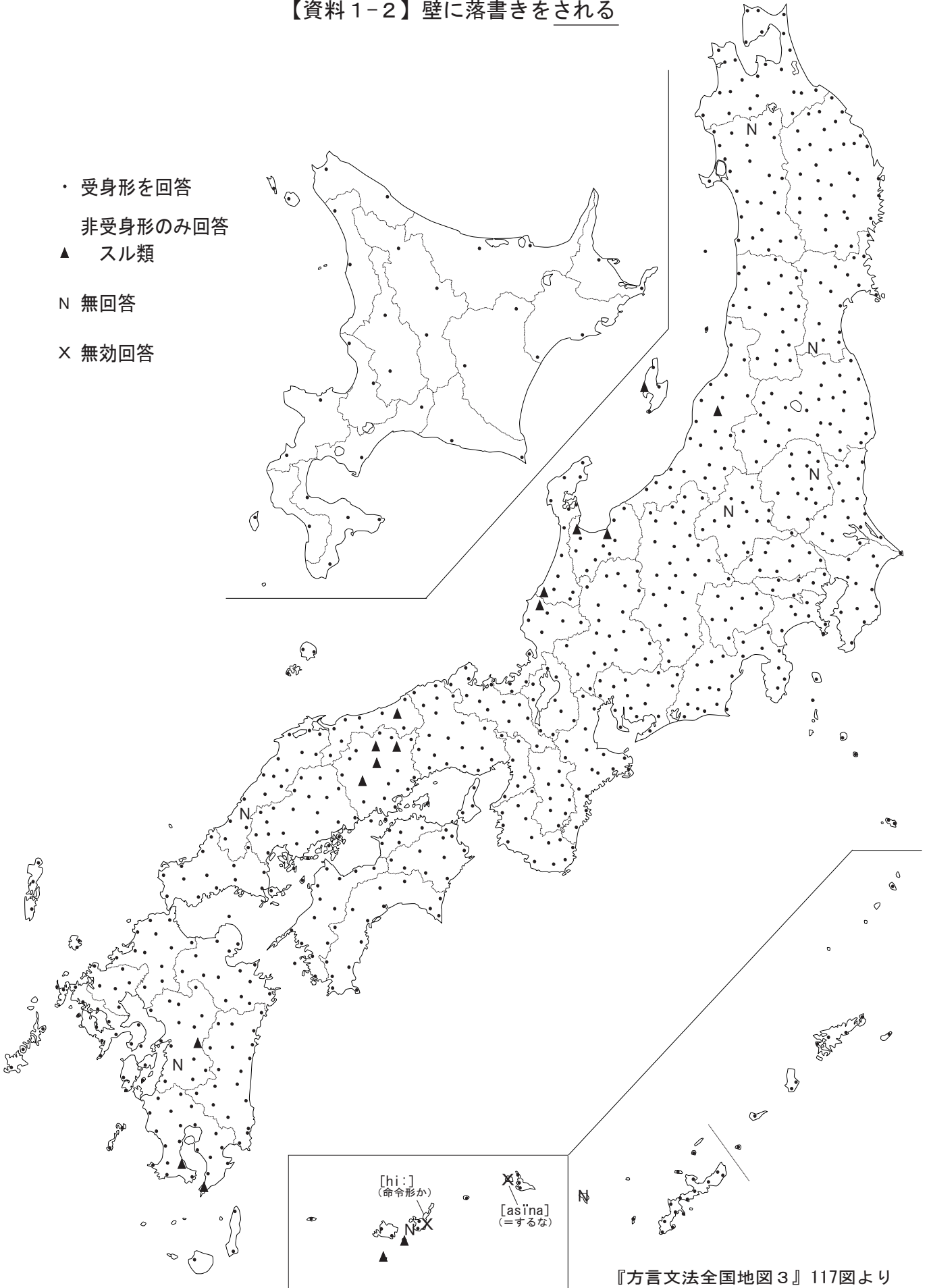
N 言わない

X 無効回答(使役形を回答)



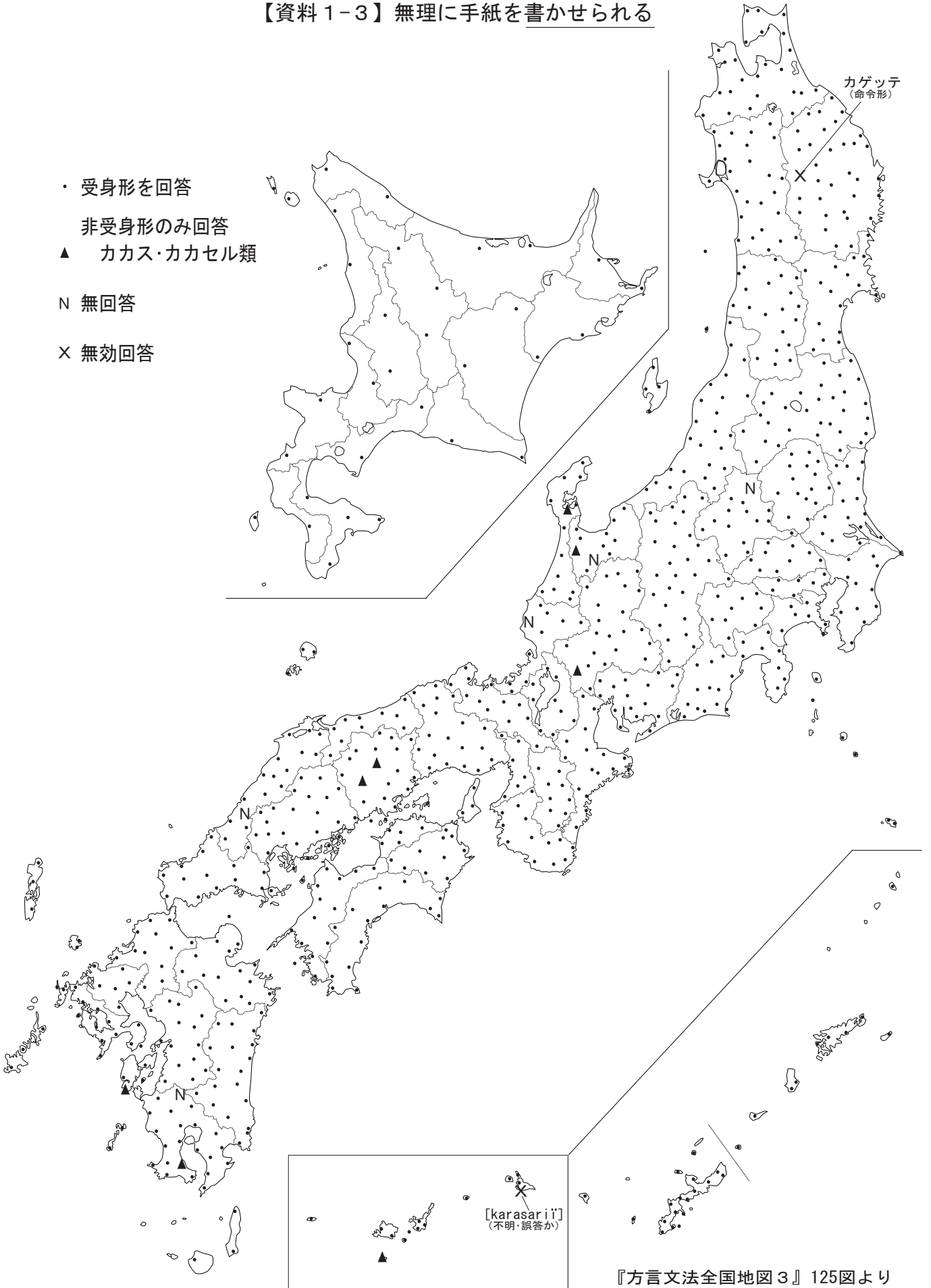
【資料1-2】壁に落書きをされる

- ・ 受身形を回答
- 非受身形のみ回答
- ▲ スル類
- N 無回答
- X 無効回答



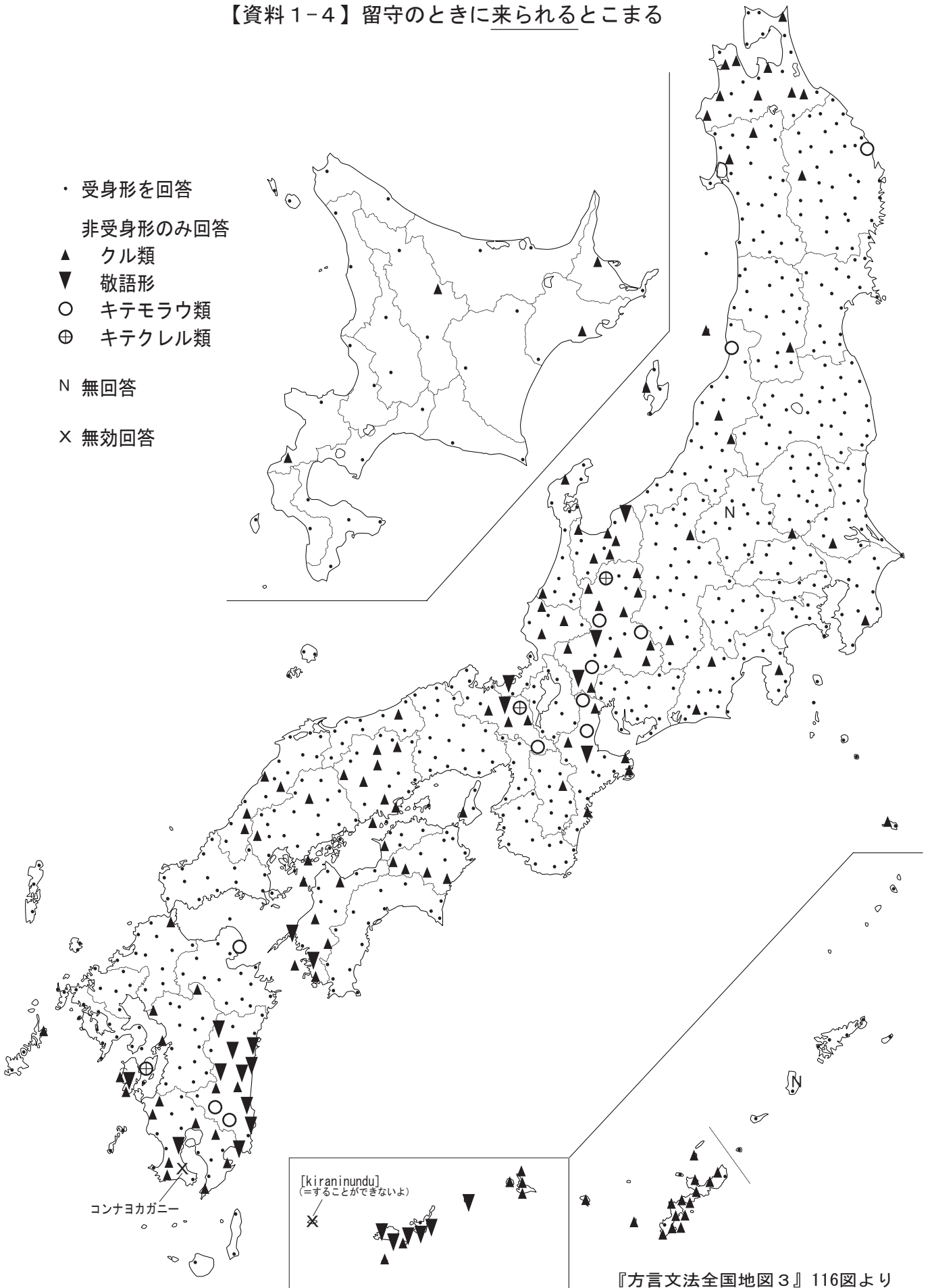
【資料1-3】無理に手紙を書かされる

- ・ 受身形を回答
- 非受身形のみ回答
- ▲ カカス・カカセル類
- N 無回答
- X 無効回答



【資料1-4】留守のときに来られるとこまる

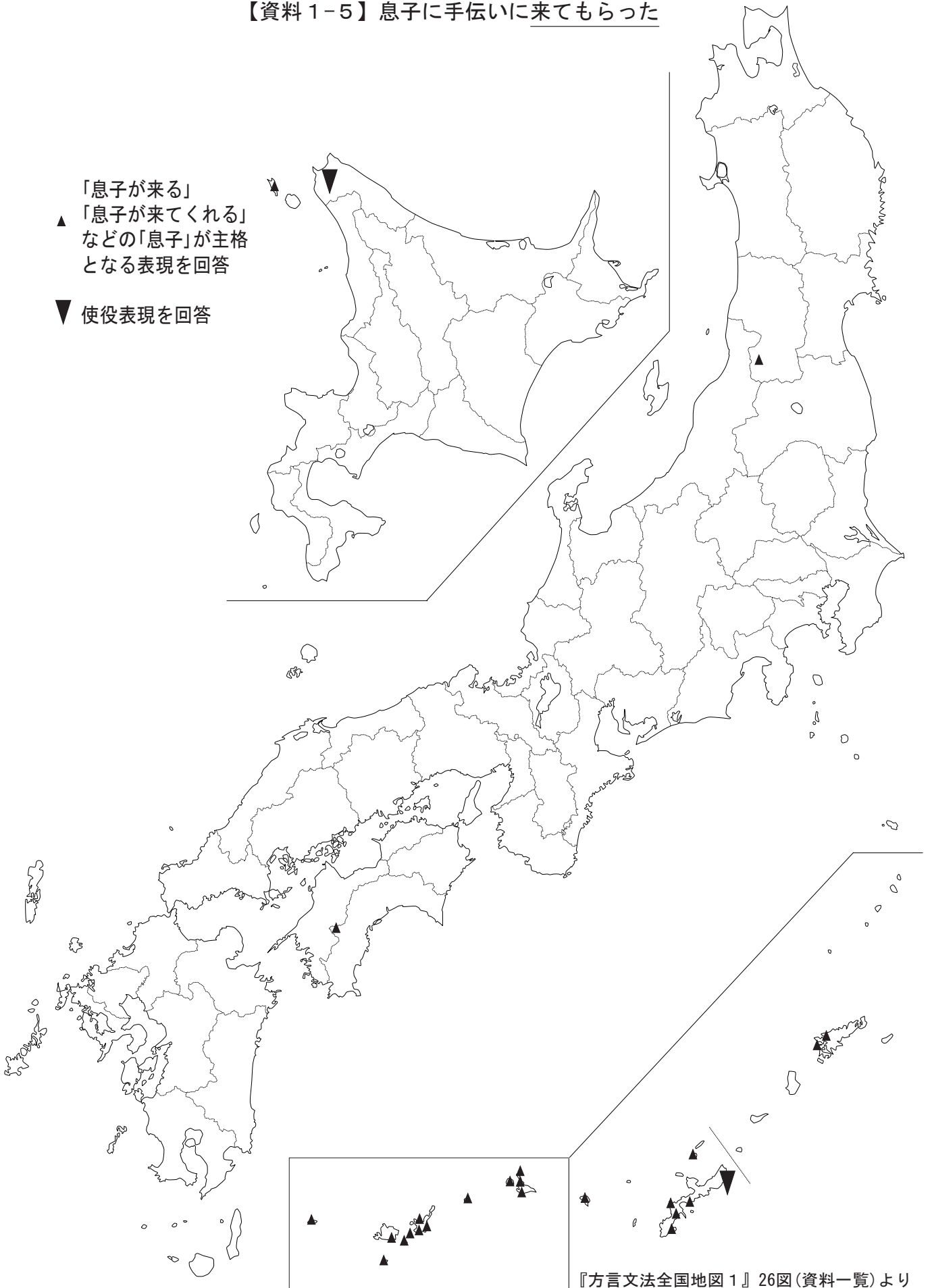
- ・ 受身形を回答
- 非受身形のみ回答
- ▲ クル類
- ▼ 敬語形
- キテモラウ類
- ⊕ キテクレル類
- N 無回答
- X 無効回答



【資料 1-5】 息子に手伝いに来もらった

▲ 「息子が来る」
「息子が来てくれる」
などの「息子」が主格
となる表現を回答

▼ 使役表現を回答



【資料2】受動文の動作主を表すカラの適格性

(日高水穂 1999「ことばに関するアンケート調査 1997-1998」『秋田大学ことばの調査1』から)

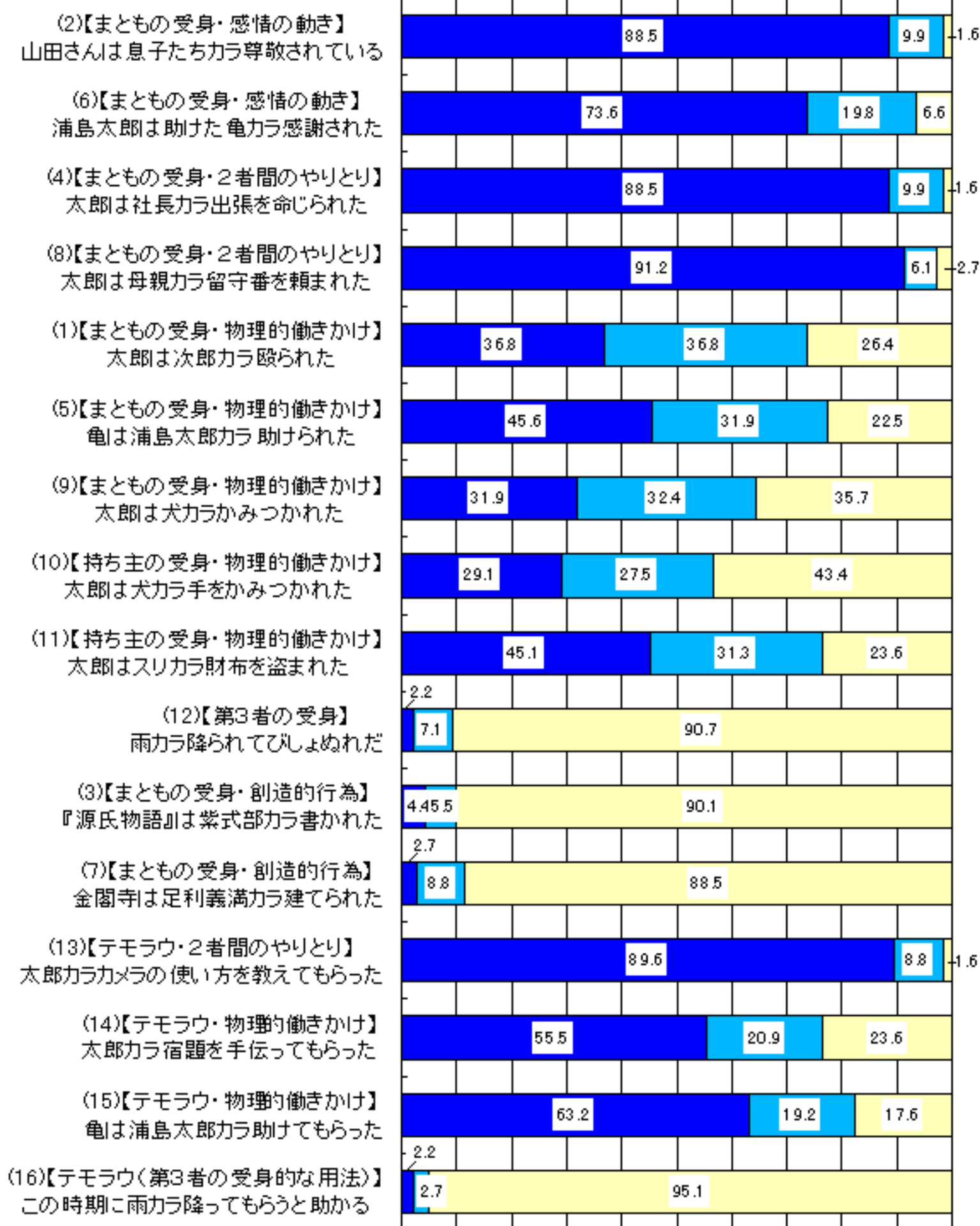
以下の表現について、助詞「カラ」を使うかどうか、「使う」「使わないが不自然ではない」「使わないし不自然である」のうち、当てはまるものにつけてください。

	使う	使わないが 不自然ではない	使わないし 不自然である
(1) 太郎は次郎カラ殴られた。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 山田さんは息子たちカラ尊敬されている。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 『源氏物語』は紫式部カラ書かれた。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 太郎は社長カラ出張を命じられた。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5) 亀は浦島太郎カラ助けられた。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6) 浦島太郎は助けた亀カラ感謝された。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7) 金閣寺は足利義満カラ建てられた。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(8) 太郎は母親カラ留守番を頼まれた。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(9) 太郎は犬カラかみつかれた。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(10) 太郎は犬カラ手をかみつかれた。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(11) 太郎はスリカラ財布を盗まれた。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(12) 雨カラ降られてびしょぬれだ。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(13) 太郎カラカメラの使い方を教えてもらった。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(14) 太郎カラ宿題を手伝ってもらった。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(15) 亀は浦島太郎カラ助けてもらった。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(16) この時期に雨カラ降ってもらおうと助かる。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

熊本調査では「殴られた(叩かれた)」、「かみつかれた(食われた)」と併記した。

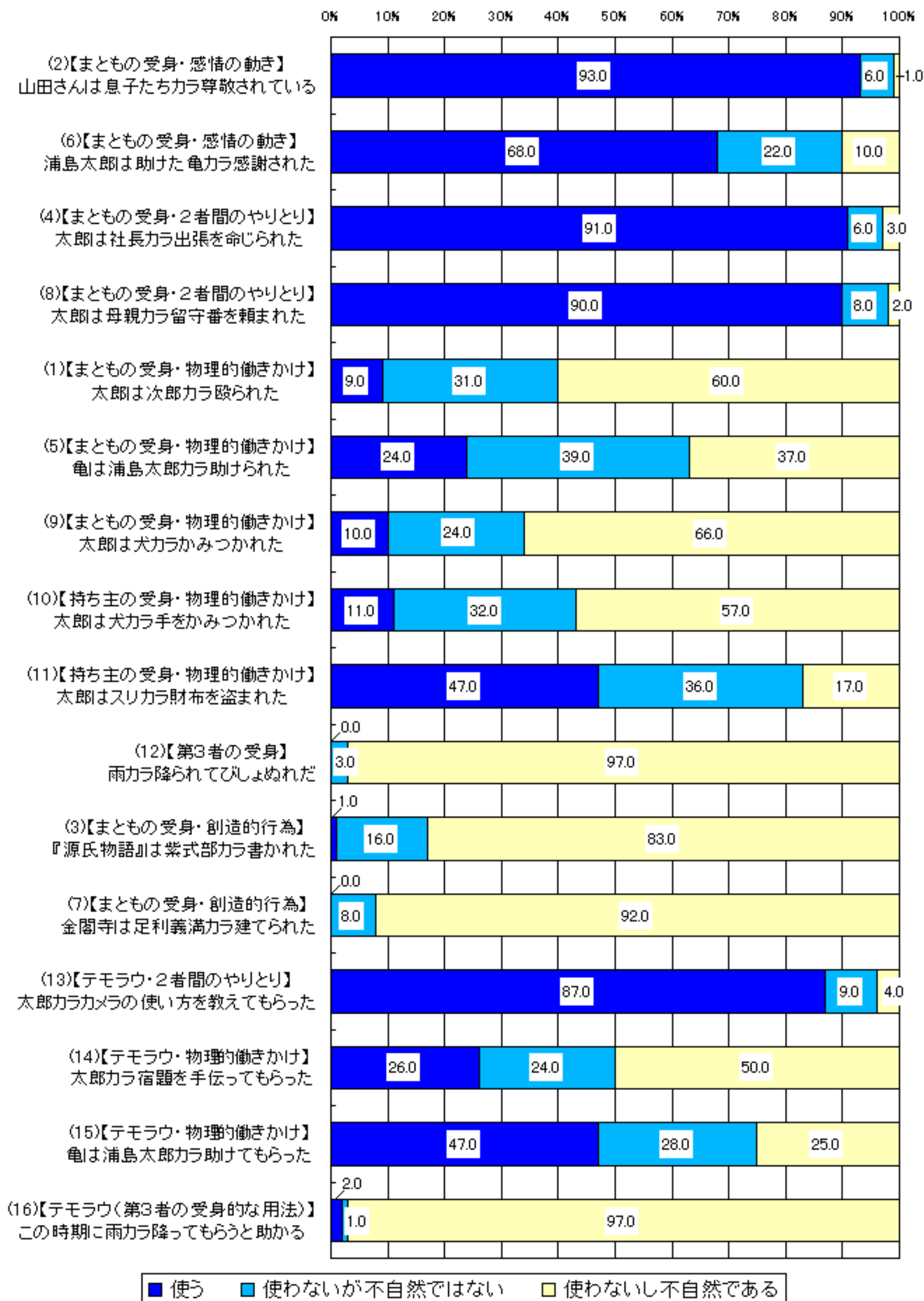
受動文の動作主を表すカラの適格性 <秋田>

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



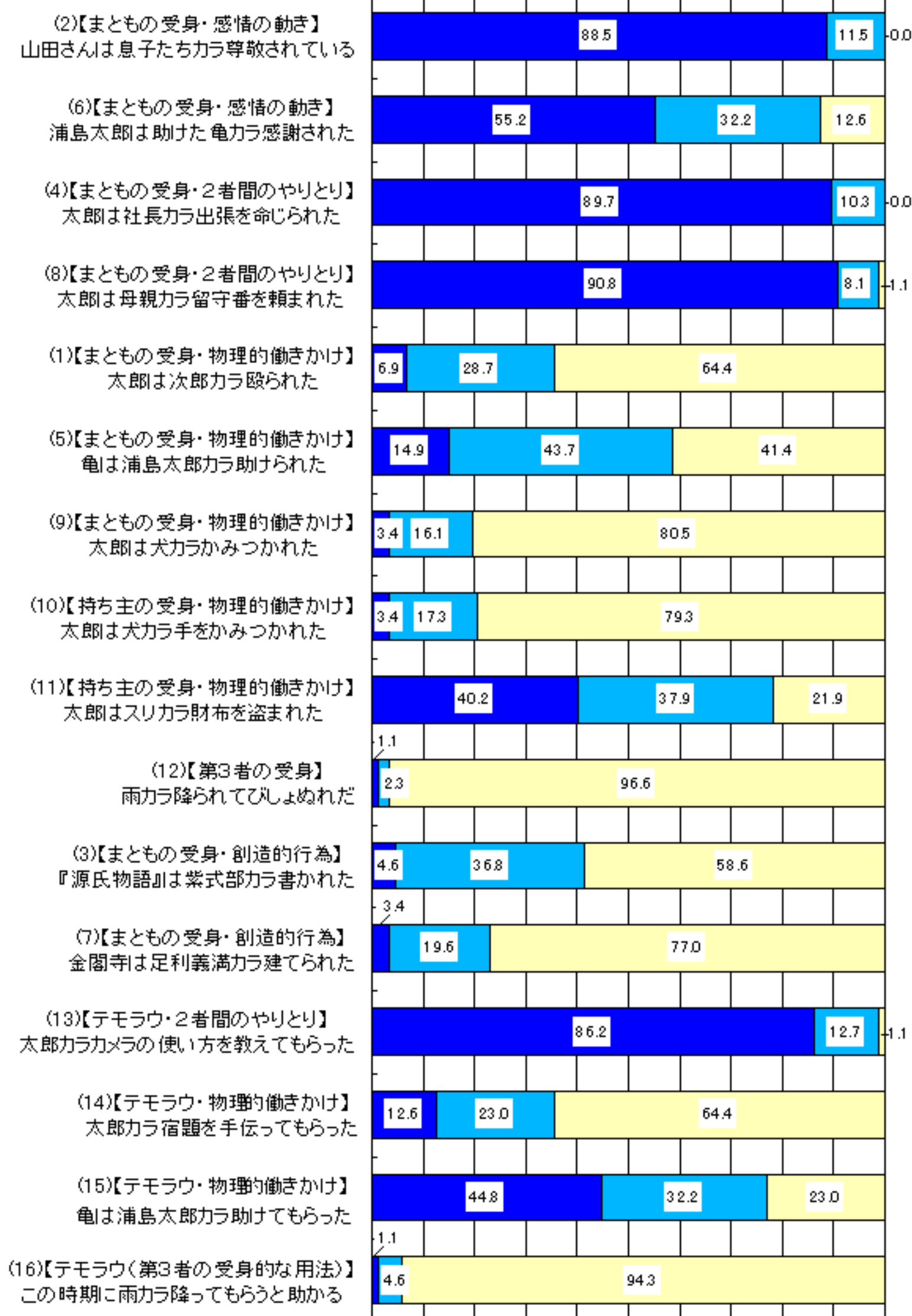
■ 使う ■ 使わないが不自然ではない □ 使わないし不自然である

受動文の動作主を表すカラの適格性 <岩手(花巻周辺)>



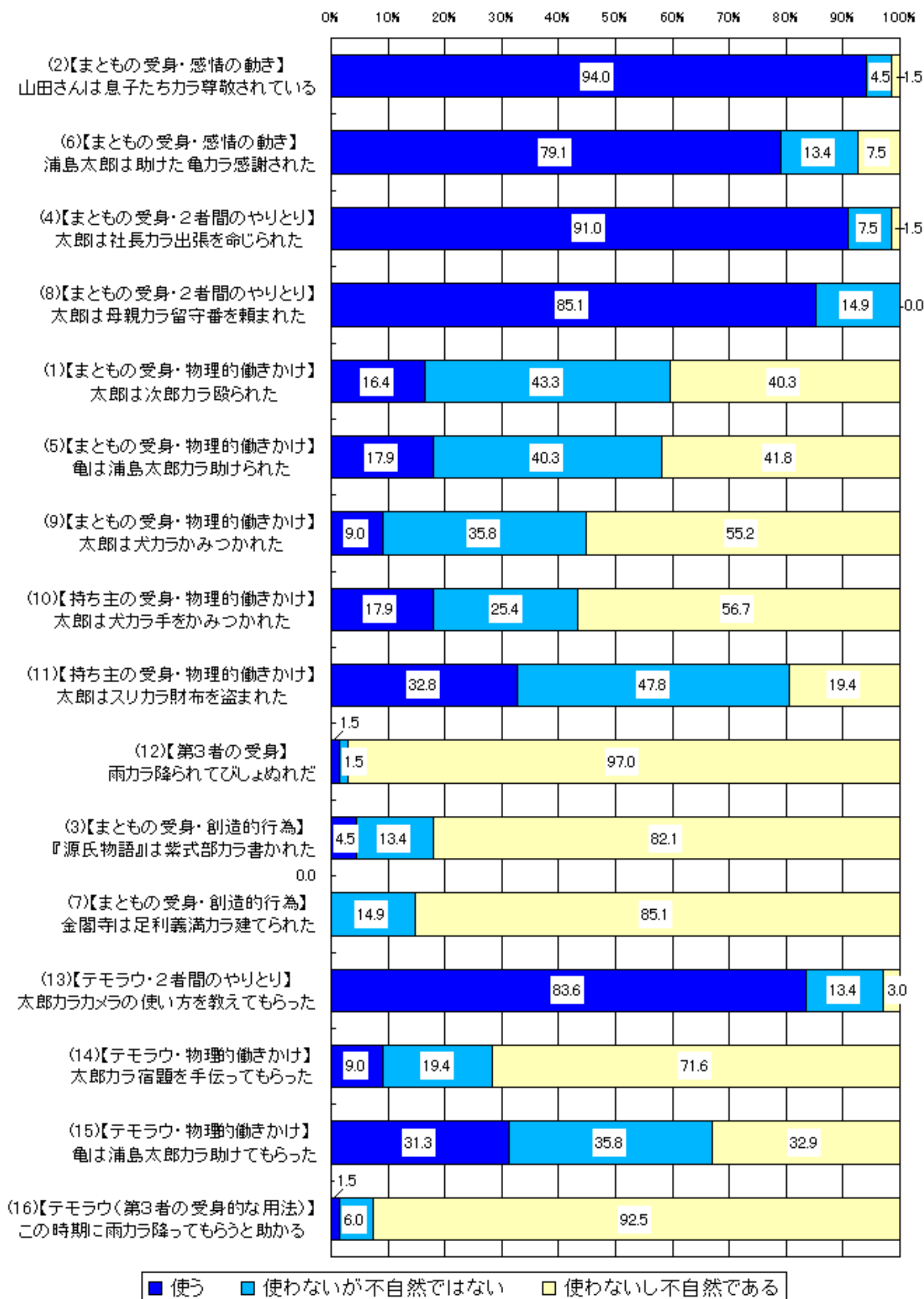
受動文の動作主を表すカラの適格性 <福島(喜多方周辺)>

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



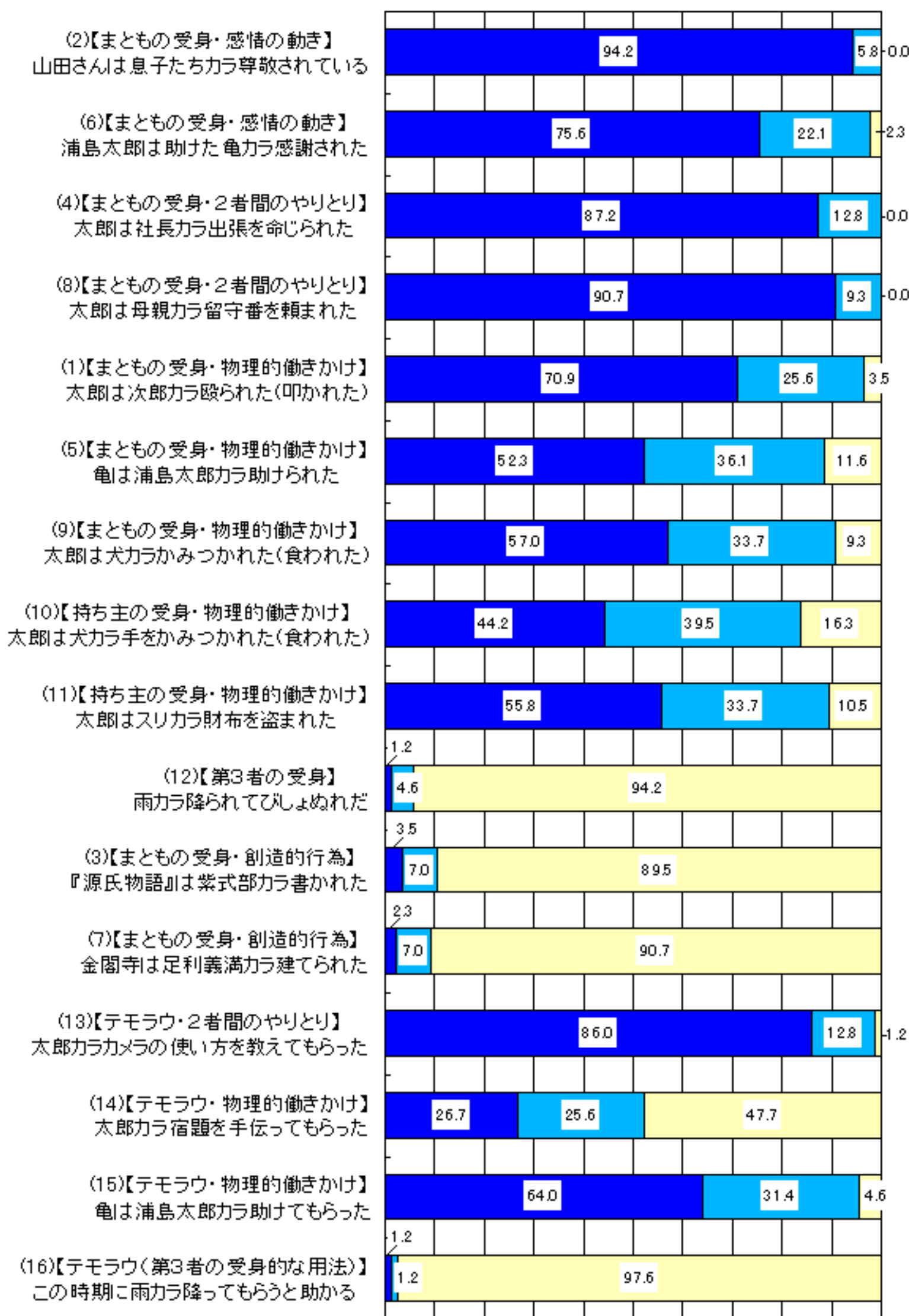
■ 使う ■ 使わないが不自然ではない □ 使わないし不自然である

受動文の動作主を表すカラの適格性 <近畿地方>



受動文の動作主を表すカラの適格性 <熊本>

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 使う ■ 使わないが不自然ではない □ 使わないし不自然である

【資料3】テモラウ表現で訳出される受動表現

(日高水穂 1997「授与動詞の体系と変化に関する方言対照研究」平成8年度大阪大学博士論文から)

標準語でテモラウ(テイタダク)表現が行われる文脈で、受動表現が行われている例が、談話資料(NHK『全国方言資料』)の中にいくつか見られる。以下、該当の談話部分と標準語訳に下線を付して示す。なお[cf.]は方言談話の下線部分に対応する標準語の表現形式であり、そこに付した「?」は標準語の表現としてはやや不自然であるという文法性判断を示すものである。

- m ドー シラネー フトデモ ネーンダモノ サンビャクゴジューエンニ シテ ヤルベ
(まあ、知らない人でもないんだからね。350円にしてあげましょう。)
f ジューエン マケデカエ (10円まけてくださるんですか。)
m フン ジューエン (ええ、10円。)
f ヤヤ ヘダラ ジューエン マゲライテ ハー コノ ジェネコア ハ サンビャクゴジューエン
(まあまあ。それでは10円まけてもらって [cf.?まけられて] このお金は、350円。)
m 1896生/f 1894生・青森県三戸郡五戸町：『全国方言資料1』p72-73

ハー ネダンワ スラネードモ マー ウリモンニ カエーモンダガラ スコスガ マゲライデ オモ
otte
(値段は知りませんが、まあ、売りものに買いものだから、少しはまけてもらいたい [cf.?まけられ
たい]とって。)
m 1891生・岩手県宮古市高浜：『全国方言資料1』p102

キョー ナントカステ ミンナニ スケラッテ オモッテキタンダ
(今日、何とかしてみんなに手伝ってもらいたい [cf.?手伝われたい]とって来たんだ。)
m 1876生・宮城県宮城郡根白石村：『全国方言資料1』p157

[急に入院した隣人へのお見舞に持って行くために]
タマゴ コサレニ() キタンダツツ キニ トーバカリ タマツテ ネーカヤ
(卵をゆずってもらいに [cf.?譲られに]来たのだが、10個ばかりたまっていますか。)
「コス」=寄越す。「頼まれて譲ったり売ったりする。分ける。」(『日本方言大辞典』)
m 1879生・宮城県宮城郡根白石村：『全国方言資料1』p162

コナエダ スケラレモシテ トンナ オシヨーシナ
(この間は手伝ってもらいまして [cf.?手伝われまして] たいそうありがとうございました。)
f 1891生・山形県南置賜郡三沢村：『全国方言資料1』p228

エマノ フットア ソレー オットノ ヒトガラー シェンダクツオ サレテル ンダドーナー()
ムカシ ソーデナエ
(今の人は夫に着物の心配をしてもらっている [cf.?されている] んですねえ。昔はそうではない。)
「シェンダクオ スル」は「裁縫する」「着物をととのえる」「着物を作る」「着物の心配をする」の意。
f 1887生・岩手県九戸郡種市町中野『全国方言資料7』p31

オー イー コ モラツテ コレ マー ミンナニ ヨロコバレテ バカリ モー。
(ああ、いい娘をもらって、これは、まあ、みんなによるこんでいただいて [cf.?喜ばれて] ばかり
ですよ、もう。)
m 1885生・東京都三宅村坪田：『全国方言資料7』p176

ヤドモトサネー ソン オコゴオ() スクージテナー (中略) ソコデ ホシテ モロータル イツテ
モロータルシテー ソーヒテ マタ ソルオ ウラツテ カル オコゴ デージャ チューツ デヨーツ ナー
(宿元にね、おごごをすくって行ってね。そこで干してもらったり、選別してもらったりして、そう
してまたそれを売ってもらって [cf.?売られて] から、「おごごでえ」だといって、集まったもので
したねえ。)

「おごご」とは、海岸の岩についている「カイラ」(ふのりの原料で、土地では「おご」という)をかきと
るとき、とりそこなって海面に浮いたもの。この「おごご」を若い人たちがきそってすくい、その売上げで寄合
いをするを、「おごごでえ」という。6月の初旬のころの楽しみだったという。

f 1892生・長崎県上県郡上対馬町鰐浦：『全国方言資料9』p161

【資料4】夏目漱石『坊つちやん』冒頭部分の各地方言訳に見る授受表現

(日高水穂1997「授与動詞の体系と変化に関する方言対照研究」平成8年度大阪大学博士論文から)

<原文>

小使に負ぶさつて帰つて来た時、おやぢが大きな眼をして二階位から飛び降りて腰を抜かす奴があるかと云つたから、此次は抜かさずに飛んで見せませと答へた。

(平井昌夫・徳川宗賢編1969「全国実例方言集」方言研究のすべて、至文堂より)

親類のものから西洋製のナイフを貰つて綺麗な刃を日に磨いて、友達に見せて居たら、一人が光る事は光るが切れぬ事があると云つた。切れぬ事があるか、何でも切つて見せると受け合つた。そんなら君の指を切つて見ると注文したから、何だ指位此通りだと右の手の親指の甲をはずに切り込んだ。

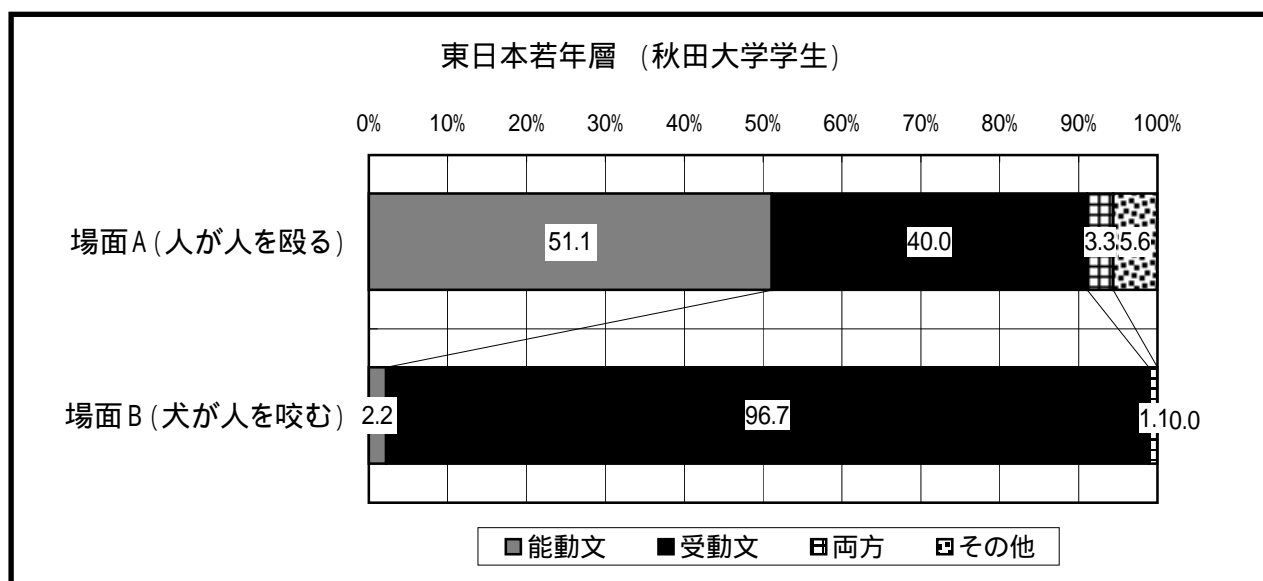
(徳川宗賢1981「方言の実態」日本語の世界8 言葉・西と東、中央公論社より)

表 夏目漱石『坊つちやん』冒頭部分の各地方言訳に見る授受表現

地域	方言訳	テモラウの有無	方言訳	テヤルの有無
北海道亀田郡戸井町	オンブサツテ	-	キツテミセルト	-
青森県弘前市	オボサツテ	-	キツテミヒエルテバト	-
岩手県盛岡市	オボサツテ	-	キツテメシエルテ	-
岩手県西磐井郡平泉町	バレデ	-	キツテメシエルド	-
宮城県仙台市	オンバツテ	-	キツテミヒエツト	-
秋田県雄勝郡皆瀬村小安	バレデ	-	キツテミシエルツテ	-
山形県東根市泉郷	ンバサツテ	-	キツテメシエルテ	-
福島県伊達郡霊山町	ウブサツテ	-	キツテミセツツオ	-
茨城県水海道市	オブサツテ	-	キツテミセルツテ	-
栃木県那須郡烏山町	オブサツテ	-	キツテミセルト	-
群馬県利根郡利根村	オブサツテ	-	キツテミセルベエト	-
埼玉県上尾市領家	オブサツテ	-	キツテミセラアト	-
千葉県長生郡本納町	ブツツアツテ	-	キツテミセルト	-
東京都区内	/	/	キツテミセテヤルカラツテ	
神奈川県厚木市	/	/	キツテミラアト	-
新潟県刈羽郡刈羽村	バレデ	-	キツテミセルドト	-
山梨県中巨摩郡白根町	オブサツテ	-	キツテミセラアト	-
長野県松本市近郊	オバツテ	-	キツテミセルト	-
岐阜県吉城郡古川町	オバレテ	-	キツテミセルワイト	-
静岡県静岡市	オンブサツテ	-	キツテミセラアツテ	-
愛知県名古屋市	オバレテ	-	キツテミセタルト	
富山県西礪波郡福光町	ボンボサレテ	-	キツテミセタルワ	
石川県羽咋郡押水町	ボンボサレテ	-	キツテミヘルト	-
福井県福井市	オンブサレテ	-	キツテミセルワイト	-
三重県伊勢市	オンデモエ		キツテミセタルゾト	
滋賀県大津市	オテモオテ		キツテミセタル	
京都府京都市北区平野八丁	オオテモロテ		キツテミセタル	
大阪府堺市	セオテモロテ		キツテミセタルゾウ	
兵庫県神戸市	オタシテモウテ		キツテミセタル	
奈良県桜井市多武峰	オーテモロテ		キツテミセタルワト	
和歌山県和歌山市	オッパシテモウテ		キツタラト	
鳥取県境港市	オワエテ	-	キツテミシチャアツテ	
島根県出雲市	オワレテ	-	キツテメシエエジト	-
岡山県岡山市	オワレテ	-	キツテミシエル	-
広島県広島市荒神町	/	/	キツテミシタラアヤア	
山口県熊毛郡上関町	オワレテ	-	キツテミショウカア	-
徳島県麻植郡山川町	オワレテ	-	キツテミセルト	-
香川県丸亀市土器町	オウテモロテ		キツテミセテヤルゾト	
愛媛県温泉郡川内町滑川	オワレテ	-	キツチャライヤ	
高知県高知市近郊	オーテモローテ		キツテミセチャルト	
福岡県糸島郡前原町有田	オワレテ	-	キツテミスルツテ	-
佐賀県小城市芦刈町	カルワイテ	-	キツテミュウダアテ	-
長崎県長崎市浦上	カラワレテ	-	キツテミシュウテ	-
熊本県熊本市田迎町良町	カラワレチ	-	キツチミスルテチ	-
大分県臼杵市	オバレチ	-	キツチミスルト	-
宮城県宮崎市小松	カルワレチエ	-	キツチエミスツドツ	-
鹿児島県鹿児島市武町	カルワレツ	-	キツミスツデチ	-
鹿児島県名瀬市市街地	クモダカッティ	-	キチニシリユウチ	-
沖縄県糸満市	ウーワーサツテ	-	キツチミシーンリ	-

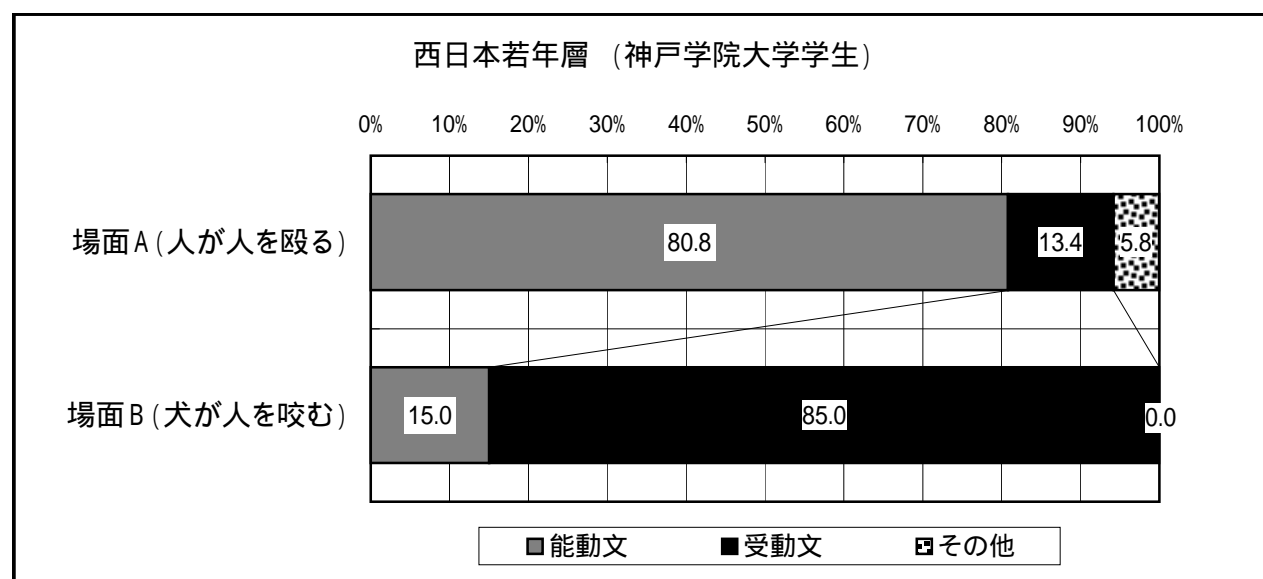
: 該当形式あり - : 該当形式なし / : 未調査
 方言訳 の 記号は引用標識「と」に当る形式が存在しないことを示す

受動文と能動文の選択



【回答者】 秋田大学学生90名(秋田73名/秋田以外の東北15名/栃木・新潟各1名)

【調査時期】 2000年9月



【回答者】 神戸学院大学学生120名(近畿89名/中国16名/四国7名/九州5名/福井・富山・愛知各1名)

【調査時期】 2001年11月

【回答例】

<場面A> [能動文] タダシがマサオを殴った。等

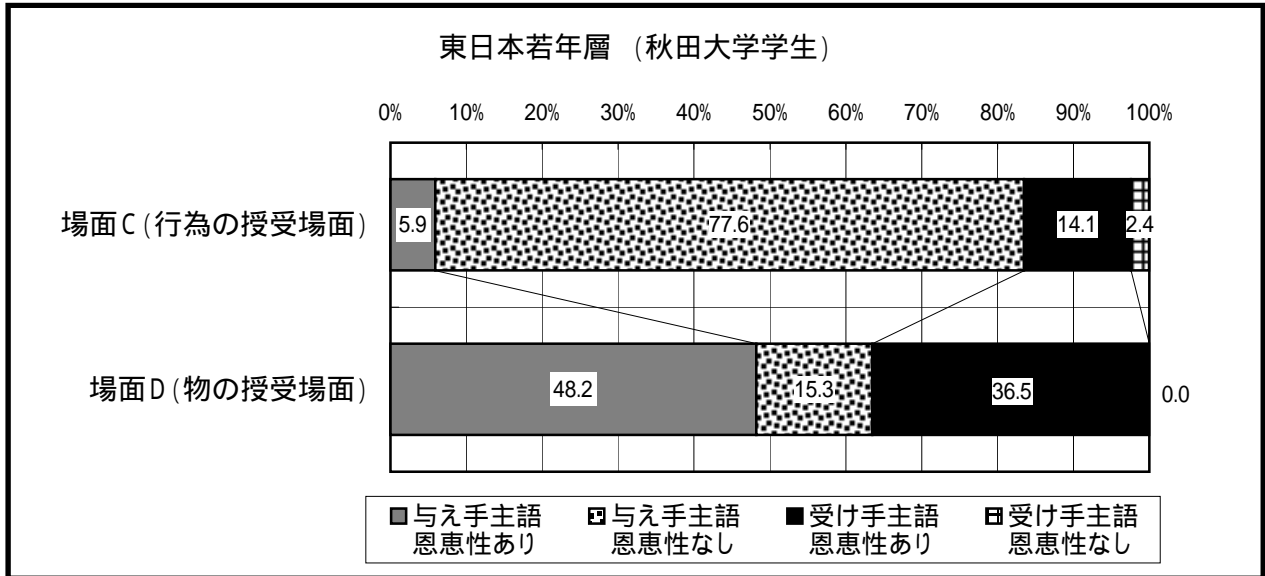
[受動文] マサオがタダシに殴られた。等

[その他] マサオがボクシングでタダシに右ストレートもらった。/ マサオがタダシを殴っている。/ マサオがタダシに負けたんだって。/ マサオの左ストレートをタダシはかいくぐり、右をカウンターで合わせた。/ マサオがタダシを殴ろうとしたら、ソレヨリ先に、マサオがタダシのパンチを食らった。(以上、秋田大学調査) / タダシはマサオと相打ちになりかけた。/ タダシがマサオに勝った。/ マサオはタダシに負けた。/ タダシの右がマサオにヒットした。/ マサオとタダシがボクシングをしている。/ マサオがカウンターをくらった。/ マサオはタダシに鮮烈なカウンターをくらった。(以上、神戸学院大学調査)

<場面B> [能動文] 犬がアキラ(の手)にかみついた。/ 犬がアキラ(の手)をかんだ。等

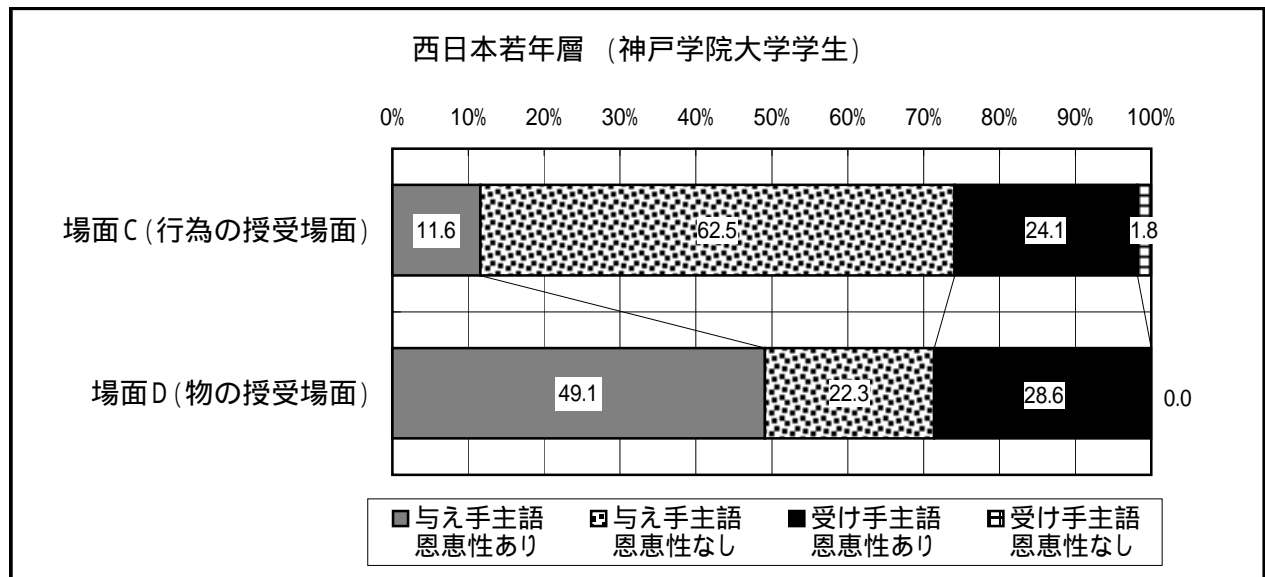
[受動文] アキラが犬にかまれた。等

授受表現の使用・不使用



【回答者】 秋田大学学生85名(秋田71名/秋田以外の東北12名/栃木・新潟各1名)

【調査時期】 2000年9月



【回答者】 神戸学院大学学生112名(近畿84名/中国14名/四国6名/九州5名/福井・富山・愛知各1名)

【調査時期】 2001年11月

【回答例】 ()内の数字は回答者数

<場面C> [与え手主語・恩恵性あり]孫がおばあさんの肩をたたいてあげている。等
「～てあげる」(秋田6/神戸13)、「～てやる」(秋田1)

[与え手主語・恩恵性なし]孫がおばあさんの肩をたたいている/もんでいる。等(秋田66/神戸70)

[受け手主語・恩恵性あり]おばあさんが孫に肩たたきをしてもらっています。等(秋田12/神戸27)

[受け手主語・恩恵性なし]おばあさんが孫に肩をたたかれている/マッサージを受けている。等(秋田2/神戸2)

<場面D> [与え手主語・恩恵性あり]山田さんが加藤さんに(加藤さんが山田さんに)りんごをあげている。等
「あげる」(秋田40/神戸54)、「さしあげる」(秋田1)、「分けてあげる」(神戸1)

[与え手主語・恩恵性なし]山田さんが加藤さんに(加藤さんが山田さんに)りんごをおすそわけした。等
「おすそわけする」(秋田10/神戸12)、「渡す」(秋田1/神戸12)、「贈る」(秋田1)、「手渡す」(神戸1)

[受け手主語・恩恵性あり]加藤さんが山田さんから(山田さんが加藤さんから)りんごをもらった。等
「もらう」(秋田26/神戸29)、「いただく」(秋田4/神戸2)、「授かる」(神戸1)、「もらう」「いただく」両方回答(秋田1)